



第13回キッズデザイン賞

最優秀賞「内閣総理大臣賞」など本日発表！

～子どもを取り巻く環境の向上につながる、令和時代の新たな視点や優れた取り組み～

キッズデザイン協議会（会長：山本 正己（富士通株式会社 取締役シニアアドバイザー））は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・空間・サービス・活動・研究などを顕彰する「キッズデザイン賞」の第13回受賞作品 263点の中から、最優秀賞、優秀賞、奨励賞、特別賞など、優秀作品33点を本日発表いたします。

2007年のキッズデザイン協議会の創設以来、「すべての子どもは社会の宝であり、私たちの未来そのものです。」を基本方針に掲げ活動を続けてきました。今回も全国の企業だけでなく、自治体や教育機関・NPOなど様々な団体から応募いただき、累計で応募数は4,986点、受賞数は2,968点となりました。

今回は保育・教育関係の施設や、保育従事者の負荷軽減につながる製品やサービスの応募が増加傾向にあり、また、暮らしや働き方が多様化する中で、個々の生活に合った新たな視点のサービスや、防災対策に関する応募が多数みられました。

「第13回キッズデザイン賞」の賞体系

	子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン		子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン			子どもたちを産み育てやすいデザイン		
	子ども部門	一般部門	クリエイティブ部門	リテラシー部門	消費者育成部門	個人・家庭部門	地域・社会部門	男女共同参画部門
最優秀賞	内閣総理大臣賞 ※第7回（2013年）から							
優秀賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	消費者担当大臣賞	少子化対策担当大臣賞	少子化対策担当大臣賞	男女共同参画担当大臣賞
奨励賞	キッズデザイン協議会会長賞		キッズデザイン協議会会長賞			キッズデザイン協議会会長賞		
特別賞	審査委員長特別賞		審査委員長特別賞			審査委員長特別賞		
	東京都知事賞							
	TEPIA特別賞							
	キッズデザイン賞（審査通過作品）							



<審査委員長 益田文和からのコメント>

文明の発展に伴って私たちの生活環境が便利になる一方で、子どもたちの身の回りにリスクが増大しているという気付きからキッズデザイン賞が生まれ、子どもたちの誕生から成長の過程を見守る仕組みを数多く顕彰し振興してきた。

しかし、気候変動が顕在化するにつれ、子どもたちを待ち受ける最大のリスクは文明そのものではなく、文明発展の代償ともいえる自然と社会の環境悪化の中にあるとさえ考えさせられる。その危機感を子どもたちと共有していきたいと思っている。

「第13回キッズデザイン賞」実施概要

- 【主 催】 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
- 【後 援】 経済産業省、内閣府、消費者庁
- 【特別協賛】 森ビル株式会社
- 【概 要】 キッズデザイン賞は、子どもや子どもの産み育てに配慮したすべての製品・空間・サービス・活動・研究を対象とする顕彰制度です。
キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・空間・サービス・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に創設されました。子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象となります。
キッズデザイン賞を受賞した作品には「キッズデザインマーク」をつけることが認められ、販売促進活動や広報活動などで、その成果を広く社会にアピールすることができます。
※キッズデザイン賞での「子ども」の対象は、0～15歳までを指します。
- 【募集期間】 2019年3月1日(金)～5月10日(金)
- 【応募方法】 キッズデザイン賞webサイト<<https://kidsdesignaward.jp/>>より受付
- 【受賞数】 受賞数 263点 (応募数: 437点)
応募者は、キッズデザインの3つのデザインミッションから設けられた以下より応募部門を選択。
- 【部 門】
- 《子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン》・・・76点
子どもの安全・安心に寄与する製品、建築・空間、サービス、活動、研究など。子ども向け、あるいは一般向けの製品、建築・空間、サービス、活動、研究において、安心・安全に配慮されたもの。
- 《子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン》・・・106点
子どもの創造性や感性に寄与する製品、建築・空間、サービス、活動、研究など。子どもの創造性・感性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に役立つもの。また、そこに新たな発想、工夫、手法があるもの。
- 《子どもたちを産み育てやすいデザイン》・・・81点
子どもや子育てに関わる人々に寄与する製品、建築・空間、サービス、活動、研究など。
妊娠・出産・子育てに関わる人が利用する製品、建築・空間、サービス、活動、研究において、安全かつ楽しく育児に取り組みやすい工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものも含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。

【報道関係者からのお問合せ先】

「第13回キッズデザイン賞」広報事務局（カーツメディアワークス内） 澤田・田口・小石

TEL : 03-6427-1627 FAX : 03-6730-9713 E-mail : contact@kartz.co.jp

【企業様からのお問合せ先】

「第13回キッズデザイン賞」事務局 TEL : 03-5405-2142 (平日10:00-17:00) E-mail : 2019kids@kidsdesign.jp

主催：特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会 TEL : 03-5405-2141 FAX : 03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階